

第3回宇宙開発利用大賞 募集要項

平成29年10月

目次

1. 宇宙開発利用大賞の概要.....	1
2. 第3回宇宙開発利用大賞の特徴.....	1
(1) 「宇宙産業ビジョン 2030」を踏まえた対応.....	1
(2) 農林水産大臣賞の創設.....	1
3. 受賞候補者の募集.....	1
(1) 募集対象.....	1
(2) 表彰の種類等.....	2
(3) 募集の方法.....	3
(4) 候補者に必要な資格.....	3
4. 選考方法等.....	3
(1) 選考方法.....	3
(2) 審査の基準.....	4
5. 応募方法.....	4
(1) 応募書類の作成.....	4
(2) 応募書類に関する問い合わせ先.....	5
(3) 募集期間.....	5
(4) 応募費用.....	5
(5) その他.....	5
6. 受賞者の発表及び表彰式.....	6
(1) 受賞者の発表.....	6
(2) 表彰方法.....	6
(3) 受賞後の広報・PR等.....	6
(4) 表彰の取り消し.....	6

1. 宇宙開発利用大賞の概要

宇宙開発利用大賞は、宇宙開発利用の推進において大きな成果を収める、先導的な取り組みを行う等、宇宙開発利用の推進に多大な貢献をした優れた成功事例に関し、その功績をたたえることにより、我が国の宇宙開発利用の更なる進展や宇宙開発利用に対する国民の認識と理解の醸成に寄与することを目的とした表彰制度です。

2. 第3回宇宙開発利用大賞の特徴

(1) 「宇宙産業ビジョン 2030」を踏まえた対応

本年5月に宇宙政策委員会で取りまとめられた「宇宙産業ビジョン 2030」では、宇宙開発利用大賞を抜本強化することが掲げられました。具体的には、従来は宇宙の開発利用に成功した優秀事例の表彰に止まっていたところを、その対象を拡大し、今後の成功を目指す有望なベンチャー企業等を対象に加えるなど、アイデア開拓を活性化させるとともに、優秀なアイデアについては事業化までつなげていくこととされました。

こうした観点を踏まえ、今回の宇宙開発利用大賞では、ベンチャー企業等の新規参入者からの応募を歓迎するとともに、こうした取り組みを積極的に評価することで、従来の発想にとらわれない、革新的なアイデアや新たな分野への取り組みなど、宇宙開発利用の手法・分野の拡大につながる事例の表彰機会を拡大します。

(2) 農林水産大臣賞の創設

農林水産分野では、過去の宇宙開発利用大賞において、内閣総理大臣賞や内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞を受賞した事例があり、今後も、衛星リモートセンシングや準天頂衛星による高精度測位サービス等の衛星データの利活用がより一層進むことが期待されています。

こうした背景を踏まえ、第3回宇宙開発利用大賞では、第2回までの10種類の表彰に加え、新たに農林水産大臣賞を創設することで、農林水産分野における宇宙開発利用の表彰機会を拡大します。

3. 受賞候補者の募集

(1) 募集対象

以下の事例(過去1年間の実績に限らない。)について、顕著な功績があったと認められる個人または団体に対して表彰します。

- ① 宇宙に関連し、商品・サービスを提供し、宇宙の利用拡大に成果を上げた個人または団体

- ② 宇宙に関連し、今後の宇宙利用の拡大に成果が期待できる独創的な宇宙利用の方法の考案等を行った個人または団体
- ③ 中小企業、大学等で、宇宙に関連し、優れた技術を保有し、我が国宇宙産業の発展に貢献している個人または団体
- ④ 宇宙に関連し、優れた研究開発を行い、宇宙の開発利用に貢献している個人または団体
- ⑤ 宇宙に関連し、教育、広報や地域のまちづくり等において、宇宙の開発利用に貢献している個人または団体

なお、個人または団体が、国または独立行政法人が定めた仕様に基づいて、単に国または独立行政法人との契約に則り納入等したのみの事例は、顕著な功績があったものとは見なされません。

(2) 表彰の種類等

(1)の5つの事例を対象として募集を行い、選考結果に基づいて以下の①～⑧の賞を授与します。各賞ともに表彰状と記念品を授与します。なお、選考結果によっては、該当事例なしとする場合もあります。受賞者は1件につき、原則代表者1名とします。

- ① 内閣総理大臣賞 1件
極めて顕著な功績があったと認められる事例
- ② 内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞 1件
特に顕著な功績があったと認められる事例
- ③ 総務大臣賞 1件
情報通信の発展、地域の振興等の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ④ 外務大臣賞 1件
平和で安全な国際社会の維持、良好な国際環境の整備等の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑤ 文部科学大臣賞 1件
科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑥ 農林水産大臣賞 1件
農林水産分野における宇宙開発利用の推進の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑦ 経済産業大臣賞 1件
鉱工業の振興の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑧ 国土交通大臣賞 1件

国土交通分野における宇宙開発利用の推進の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例

- ⑨ 環境大臣賞 1件
地球環境保全、公害の防止、自然環境の保護及びその他の環境の保全の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑩ 防衛大臣賞 1件
防衛分野における宇宙開発利用の推進の視点から特に顕著な功績があったと認められる事例
- ⑪ 宇宙航空研究開発機構理事長賞 1件
宇宙開発利用の技術の観点から顕著な功績があったと認められる事例

(3) 募集の方法

自薦他薦を問わない公募方式です。

(4) 候補者に必要な資格

- ① 候補者については、国籍を問いません。
- ② 日本国内で実績が上がっている事例、または日本国外において日本に居住する個人もしくは日本法によって設立された団体により実績が上がっている事例とします。
- ③ 既に国家栄典(叙勲、褒章)を受けている方は受賞対象とはなりません。また外国の国家栄典またはそれに準ずるものを受けている方も受賞対象とはなりません。ただし、中央省庁またはその他の機関(地方自治体、業界団体等)による表彰制度の受賞者は対象となります。
- ④ 第1回、第2回宇宙開発利用大賞受賞者は、同一の事例では各賞の受賞対象とはなりません。
- ⑤ 今回の表彰において、同一人に対して複数の表彰は行いません。
- ⑥ 禁固刑以上の刑歴を有する方は受賞対象から除外します。

4. 選考方法等

(1) 選考方法

関係府省及び宇宙航空研究開発機構による予備選考を経た後、有識者等で構成される選考委員会による審査を経て、受賞者の選出を行います。

(2) 審査の基準

以下の基準により、優れていると評価される事例を審査します。

① 宇宙開発利用の新たな領域創造への貢献

従来の発想にとらわれない、世界に先駆けた革新的なアイデアや新たな分野への取り組みなど、宇宙開発利用の手法・分野の拡大につながる事例であること。

② 宇宙開発利用市場の拡大への貢献

契約件数、売上実績等が伸びていること、または、契約件数、売上実績等の伸びが期待できること。

③ 産業、生活、行政の高度化及び効率化への貢献

産業、生活、行政の高度化及び効率化に優れた貢献をしていること、または期待できること。

④ 技術への貢献

宇宙開発利用に貢献している、または貢献が期待できる優れた研究開発を行っていること。

⑤ 普及啓発への貢献

不特定多数の者に、宇宙開発利用に貢献する普及啓発(人材育成を含む。)を行っていること。

5. 応募方法

(1) 応募書類の作成

- ① 応募に当たっては、所定の応募書類を作成していただく必要があります。応募書類は以下の宇宙開発利用大賞のホームページからダウンロードしてください。

◇ 宇宙開発利用大賞のホームページ
: <http://www.uchuriyo.space/taishou>

② 応募書類の提出方法

応募については応募書類をダウンロードして必要事項を記入の上、電子メールまたは郵送(簡易書留または追跡可能な信書便)にて送付してください。郵送の場合は、応募書類に加えて応募書類を記録した CD-R または DVD-R も同封していただき、以下の応募書類送付先まで郵送ください。

◇ 応募書類送付先(郵送の場合)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-1
新御茶ノ水アーバントリニティビル 2 階

(一財)日本宇宙フォーラム内
宇宙開発利用大賞事務局 宛

◇ 応募書類送付先(メールの場合)

taishou@jsforum.or.jp

応募に当たっての詳細は、応募専用ホームページをご覧ください。なお、提出された応募書類は返却しませんので、予めご了承ください。また、提出された応募書類に不備がある場合、審査対象から除外する場合がありますのでご注意ください。

(2) 応募書類に関する問い合わせ先

宇宙開発利用大賞事務局((一財)日本宇宙フォーラム内)

- ・ 電話:03-6206-4902
- ・ メール:taishou@jsforum.or.jp

なお、応募書類提出後の確認や修正に関するお問い合わせにはお答えできませんので、十分ご確認いただいた上でご提出ください。

また、受賞者決定前の候補者に関するお問い合わせや審査状況に関するお問い合わせ、落選した場合の落選理由に関するお問い合わせ等には一切お答えできませんのでご了承ください。

(3) 募集期間

平成29年10月2日(月)～平成29年12月11日(月)[※]

※ 募集期間を平成29年12月11日(月)まで延期しました。

この期間内であればいつでも応募可能ですが、電子メール及び郵送による応募ともに平成29年12月11日(月)必着(郵送の場合は応募書類送付先必着)でご提出ください。

(4) 応募費用

応募に際して、手数料等はおかかりませんが、応募書類の送料は応募者の負担とさせていただきます。

(5) その他

- ① 応募書類に記載された個人情報その他の情報は、本審査以外の目的には使用いたしません。
- ② 応募内容については、他の特許等を侵害していないこと、または係争中でな

いことが条件です。

- ③ 応募内容に関して、記載に虚偽が明らかになった場合には、応募は無効となります。
- ④ 審査に当たって、書類内容の確認、追加資料提出のお願いや応募書類に関する質問など事務局から応募者に対して連絡する場合があります。このため、事務局からの連絡に適切かつ確実に応対下さるようお願いいたします。適切な応対がなされない場合や一定期間連絡が取れない場合には、審査対象から除外する場合があります。
- ⑤ 他薦の場合は、原則として本人の了解を得た上で応募ください。
- ⑥ 第1回、第2回宇宙開発利用大賞で選外となった事例は応募可能です。

6. 受賞者の発表及び表彰式

(1) 受賞者の発表

受賞者の発表は平成30年3月を予定しています。受賞者及び受賞内容については、内閣府のホームページ等で発表するとともに、受賞者には直接通知します。選外となったものについては特に通知は致しません。

(2) 表彰方法

受賞者に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って受賞者に連絡します。

(3) 受賞後の広報・PR等

受賞後に受賞者による事例発表(プレゼンテーション、展示)を行う予定です。これに限らず、受賞者の方に対しては、受賞後の広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いすることがありますので、予めご了承ください。

(4) 表彰の取り消し

表彰後に禁固刑以上の刑に処された場合は、受賞を取り消し、表彰状等は返納していただくこととします。